

評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	定量・定性区分	様式	
財務体質等	自己資本比率の状況	経営の安定度を評価		【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※自己資本÷総資本×100	定量評価	様式6－1	
		○50%以上	2点				
		○30%以上50%未満	1点				
		○20%超30%未満	0点				
	流動比率の状況	○20%未満	-1点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※流動資産÷流動負債×100	定量評価	様式6－2	
		○150%以上	6点				
		○120%以上150%未満	3点				
		○100%以上120%未満	0点				
	過去3ヶ年の決算状況 （赤字の有無）	○100%未満	-3点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価	定量評価	様式6－3	
		収益力を評価					3点
		○赤字なし	2点				
		○3ヶ年のうち1ヶ年が赤字	1点				
	営業キャッシュフロー	○3ヶ年のうち2ヶ年が赤字	0点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出	定量評価	様式6－4	
		○3ヶ年のうち3ヶ年が赤字	0点				
		営業キャッシュフローで評価					6点
		○1億以上	4点				
		○5000万円以上～1億円未満	2点				
		○1000万円以上～5000万円未満	0点				
固定長期適合率	○0円以上～1000万円未満	-2点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※固定資産÷（自己資本＋固定負債）×100	定量評価	様式6－5		
	長期の資産と長期の負債のバランスを評価					2点	
	○100%未満	1点					
	○100%以上～125%未満	0点					
有利子負債月商比率	○125%以上～150%未満	-1点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※有利子負債 ÷ 1月あたり売上高 ※「有利子負債」は、短期借入金、コマーシャルペーパー、長期借入金、社債、転換社債、新株引受付社債、受取手形割引高の合計。 ※「1月あたりの売上高」は売上高÷12ヶ月。 ※NPO法人等の公益法人については、「売上高」を「事業収益」に読み替えること。	定量評価	様式6－6		
	財務健全性を評価					9点	
	○3倍未満	0点					
	○3倍以上～6倍未満	-9点					
売上高経常利益率	○6倍以上	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※経常利益 ÷ 売上高×100 ※NPO法人等の公益法人については、「売上高」を「事業収益」に、「経常利益」を「評価損益等調整前当期経常増減額」に読み替えること。	定量評価	様式6－7			
	経営効率や収益性を評価					2点	
	○20%以上				1点		
	○5%以上～20%未満				0点		
地域精進度	事業者の所在地	○0%以上～5%未満	-1点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※災害時応援協定等を市と締結している事業者を評価。事業者の所属している団体が、市との協定等を締結しているときも評価の対象とする。	定量評価	様式6－8	
		○0%未満					
		本店、支店、営業所等の所在地を評価					3点
		○市内に本店あり	2点				
	市への社会貢献度	○市内に支店、営業所等あり	1点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】	定量評価	様式6－9	
		○府内に本店、支店、営業所等あり	0点				
		○府内に本店、支店、営業所等なし					
		市との災害時応援協定等の締結による地域貢献の実績					1点
	○協定締結あり	0点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※平成22年4月1日以降に基本設計及び実施設計が完了した一般病床を有する病院の設計実績を対象とする。 ※延べ面積には立体駐車場などの他用途の付属棟は除く。	定量評価	様式6－10		
	○協定締結なし						
	事業者の実績・能力	事業者の同種・類似業務の実績					【JVの場合は設計代表事務所】の設計実績を審査】 ※平成22年4月1日以降に基本設計及び実施設計が完了した一般病床を有する病院の設計実績を対象とする。 ※延べ面積には立体駐車場などの他用途の付属棟は除く。
		○同種かつ同規模以上の業務受託実績あり	30点				
		○同種かつ1/2以上の規模の業務受託実績あり	20点				
		○類似業務の業務受託実績あり	10点				
		○上記いずれも実績なし	0点				
	配置予定従事者の実績・能力	配置予定従事者の保有する資格	業務を執行する上で有効な国家資格等の有無を評価		【配置予定管理技術者の保有する資格審査】 ※左記の「国家資格等」とは、下記に示す国家資格とする。 「一級建築士」及び「構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士」両方の資格 ※証明書、合格証等を提出	定量評価	
			○資格あり	1点			
			○資格なし	0点			
配置予定従事者の業務実績		同種・類似業務の実績の有無を評価		【配置予定管理技術者の設計実績を審査】 ※平成22年4月1日以降に竣工引き渡し完了した一般病床を有する病院の設計実績を対象とする。 ※延べ面積には立体駐車場などの他用途の付属棟は除く。	定量評価	様式6－12	
		○責任者として同種業務に従事した実績あり	30点				
		○同種業務に従事していた実績あり	20点				
		○類似業務に従事していた実績あり	10点				
		○同種・類似業務に従事した実績なし	0点				
		配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等	同種・類似業務内容に関する専門知識等の有無を評価				
○専門知識等あり			1点				
○専門知識等なし			0点				
品質保証への取組		品質マネジメントに関する取組状況	品質マネジメントに関する取組状況を評価		【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※登録証の写しを提出 ※入札告示日現在の取得状況とする。	定量評価	様式6－13
	○ISO9001の認証取得の有無		1点				
男女協働参画の実現への取組	休暇休業等の取得状況	育児休業、介護休業等の取得者率を評価		【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※取得者率（％）＝雇用者に占める取得者の割合 ※入札告示日以前（過去3年間）の取得者率を評価する。	定量評価	様式6－14	
		○3%以上	3点				
		○2%以上3%未満	2点				
		○1%以上2%未満	1点				
		○1%未満	0点				
定量評価 合計			100点				

資料2ー2 「提案書に関する評価項目一覧」（定性評価項目）

評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	定量・定性区分	様式
研修体制	研修の実施	技術力向上のための研修の実施状況进行评估	1点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。 ※報告書、受講修了証、レジュメ等で確認する。	定性評価	様式7－1
	適正な履行確保のための研修計画	契約期間中の適正な業務履行確保のための研修計画の有無及び内容を評価	1点	※研修対象は現場の作業従事者とする。 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。	定性評価	
履行体制	適正な履行確保のための業務体制	仕様書に基づく作業計画書の作成と業務内容を評価	2点	※作業計画書と仕様書との適合性を評価する。	定性評価	様式7－2
品質保証への取組	苦情処理体制	苦情処理体制の整備状況进行评估	1点	【JVの場合は設計代表事務所を審査】 ※苦情処理要領（マニュアル等）の有無、内容（役割分担、報告・指示及び結果報告系統、伝達方法の明記必須）	定性評価	様式7－3
実施方針等	実施方針・フロー・工程表	業務の実施方法や実施体制、設計期間等进行评估 【評価基準】 ・事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。 ・事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ・効果的な人員体制になっているか。 ・手法、日程等に無理はないか。 ・企業の設計実績及び配置設計技術者の実績、資格 ・設計期間短縮のための具体的かつ実現性のある手法について	25点	【評価基準】 ・事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。 ・事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ・効果的な人員体制になっているか。 ・手法、日程等に無理はないか。 ・企業の設計実績及び配置設計技術者の実績、資格 ・設計期間短縮のための具体的かつ実現性のある手法について	定性評価	様式7－4
特定提案等	【配置計画】	【評価基準】 ・周辺環境に配慮した計画となっているか。 ・来院者、救急、サービスの利便性や安全性に配慮したアプローチ計画となっているか。 ・合理的な施設配置計画であるか。	15点	※提案書により確認	定性評価	様式7－5 様式9
	【施設計画】	【評価基準】 ・患者や家族、職員等、病院の利用者にとって快適で安全、安心に利用できるよう配慮されているか。 ・病棟の療養環境に配慮されているか。	15点	※提案書により確認	定性評価	
	【内部動線計画】	【評価基準】 ・来院者にわかりやすい内部動線計画になっているか。 ・職員が安全で効率的に業務を行えるよう配慮した動線計画になっているか。 ・看護動線や物流動線の効率化に配慮されているか。 ・合理的な救急動線の計画となっているか。	10点	※提案書により確認	定性評価	
	【新病院の機能等の提案】	【評価基準】 ・感染症に配慮した計画になっているか。 ・近年の医療環境の変化（DX化含）、省人化に配慮されているか。 ・鉄道から生じる振動、騒音、電磁波等への対応が考慮されているか。	10点	※提案書により確認	定性評価	様式7－5
	【将来を見据えた計画、LCC等について】	【将来を見据えた計画、LCC等について】 ・建物の維持管理、省エネ対策等のLCC縮減について計画されているか。 ・将来の医療環境の変化にも対応できる計画となっているか。	10点	※提案書により確認	定性評価	
	【自由提案】	【自由提案】※本事業に有効かつ実現性が高いもの（昨今の建設市況に鑑みたコストマネジメント手法、その他独自の設計提案等）を最大3つまでとする。	10点	※提案書により確認	定性評価	
定性評価 合計			100点			